

パソコンで 音声入力

2020年7月

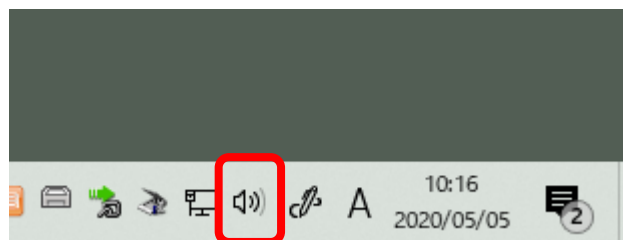
パソコンで音声入力を利用する方法

パソコンで文字入力するのに、キーボードからではなく、しゃべって入力できないか？と思ったことはありませんか。

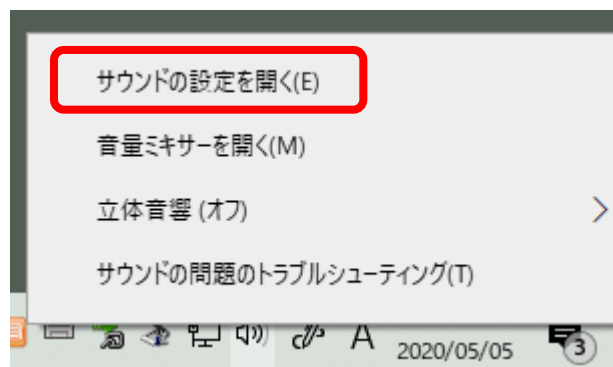
以前から、音声認識の高価なソフトを購入して利用することはできましたが、今のWindows10では無料で音声認識能が使えるようになっています。

スマホで音声入力が便利に使えるようになっている現在、パソコンでも同じように音声入力できる方法をまとめてみました。

まずは、パソコンに内蔵又は接続したマイクの動作を確認し、必要により音量を調整する。

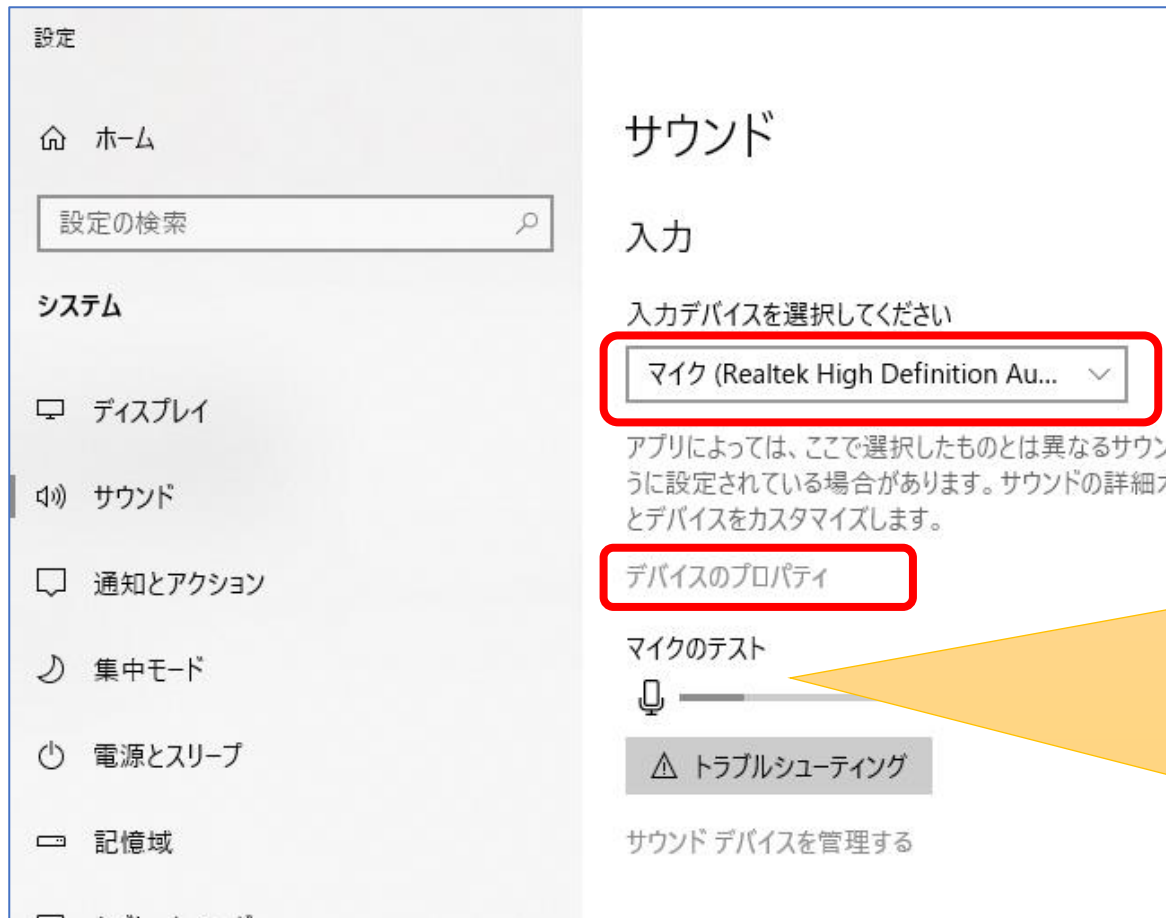


画面右下のスピーカーマークを右クリックする。



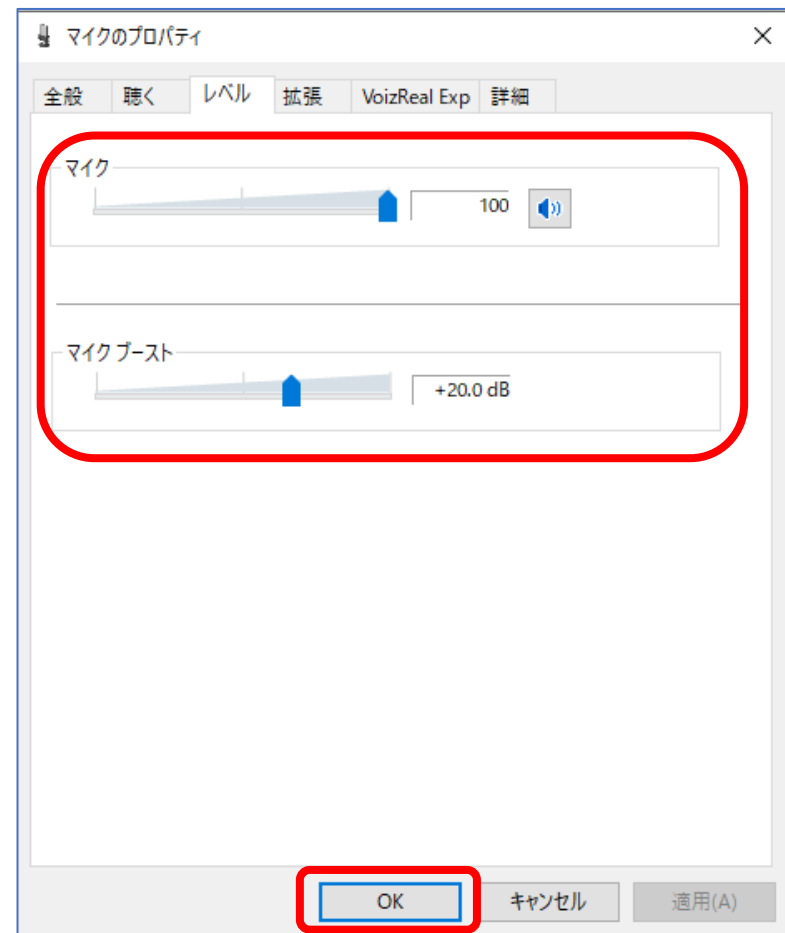
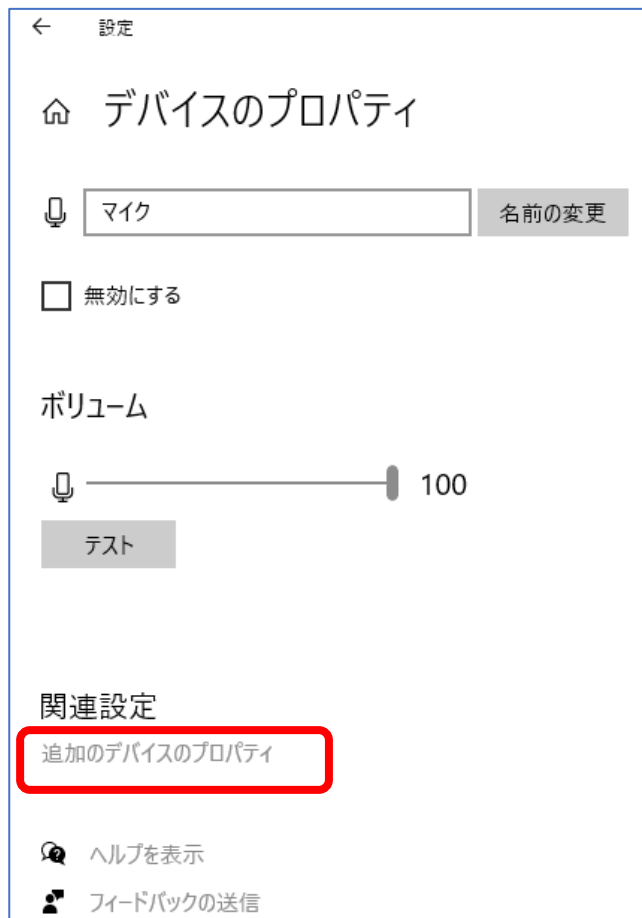
「サウンドの設定を開く」

サウンド設定画面が開くので、「入力」の「デバイスのプロパティ」を開く。



マイクに向かって何かしゃべって、このメーターが振ればOK。
振れが小さければ、「デバイスのプロパティ」を押してマイクレベルを調整する。(次ページ)
もし、全く動かない場合は、上の「入力デバイスの選択」を切り替えてみる。

「デバイスのプロパティ」が開いたら、「追加のデバイスのプロパティ」を開き、「マイクのプロパティ」の「レベル」で、「マイク」と「マイクブースト」を調整する。



「Googleドキュメント」の音声入力機能を使う方法

- 認識精度が高いGoogleの音声認識をパソコンから利用することができ、最もお勧めできる方法です。
- Googleのクラウドサービス「Googleドキュメント」を開き、その音声入力機能を使って文章を入力します。できた文章をコピーし、ワードなどに貼り付けて利用します。

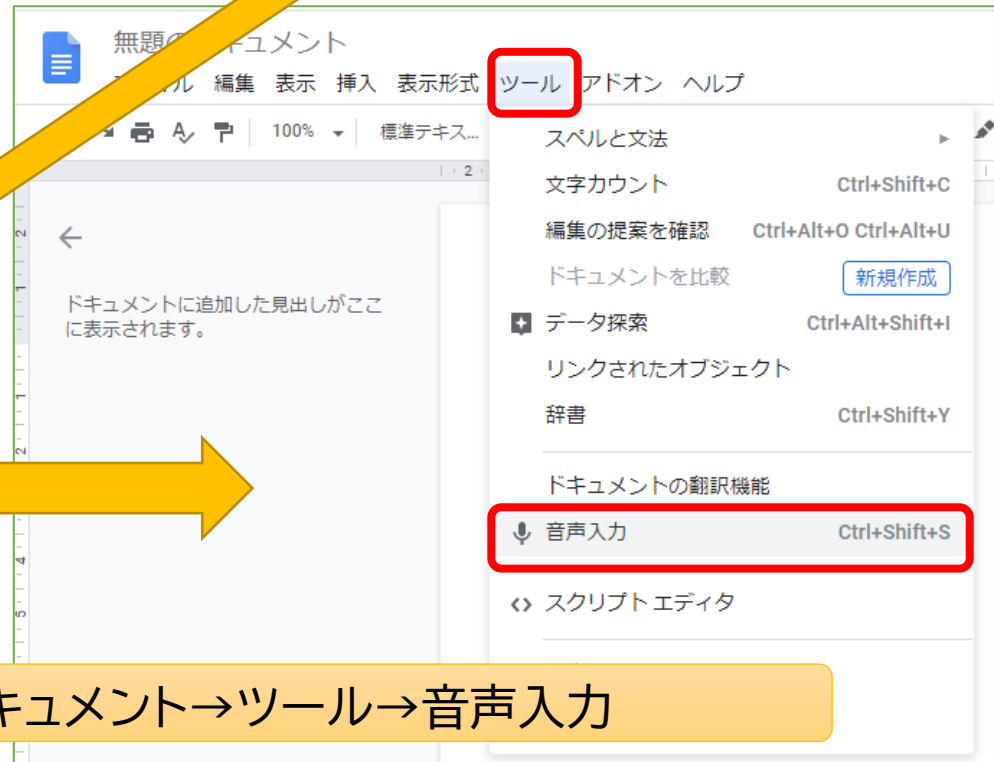
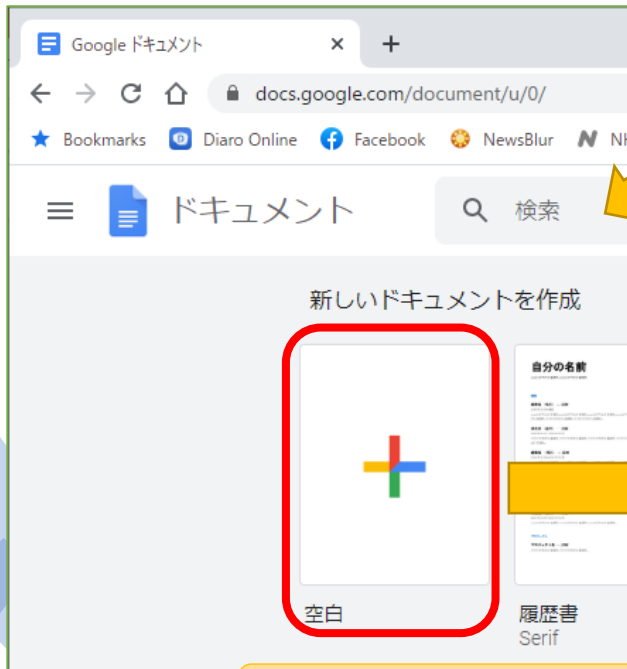
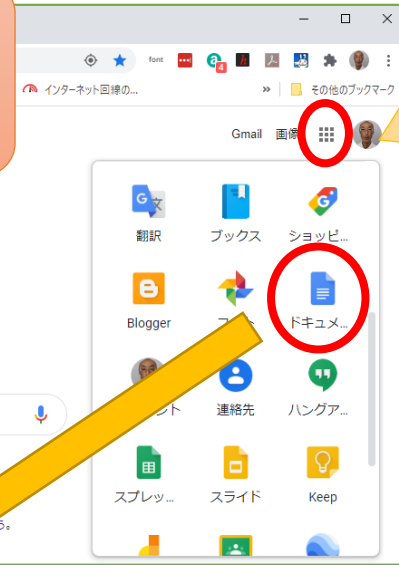
手順

ブラウザは必ずGoogle Chromeを使って下さい。他のブラウザには対応していません。

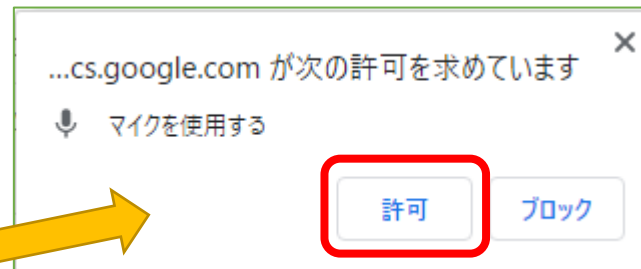
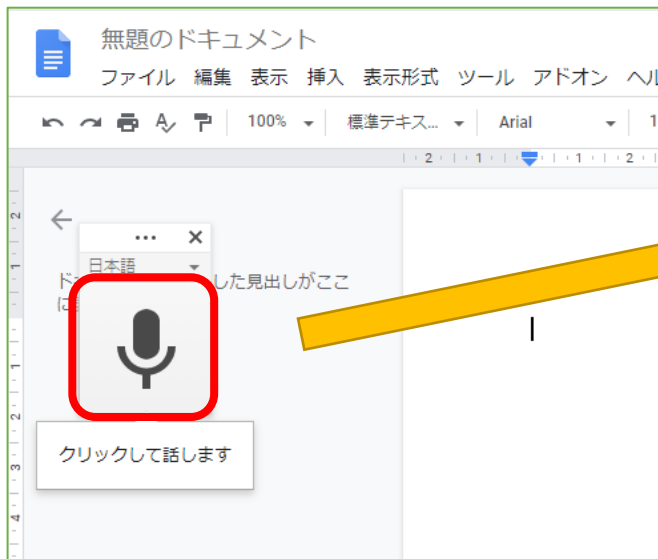
Googleのトップページから「Googleドキュメント」を開く

Google

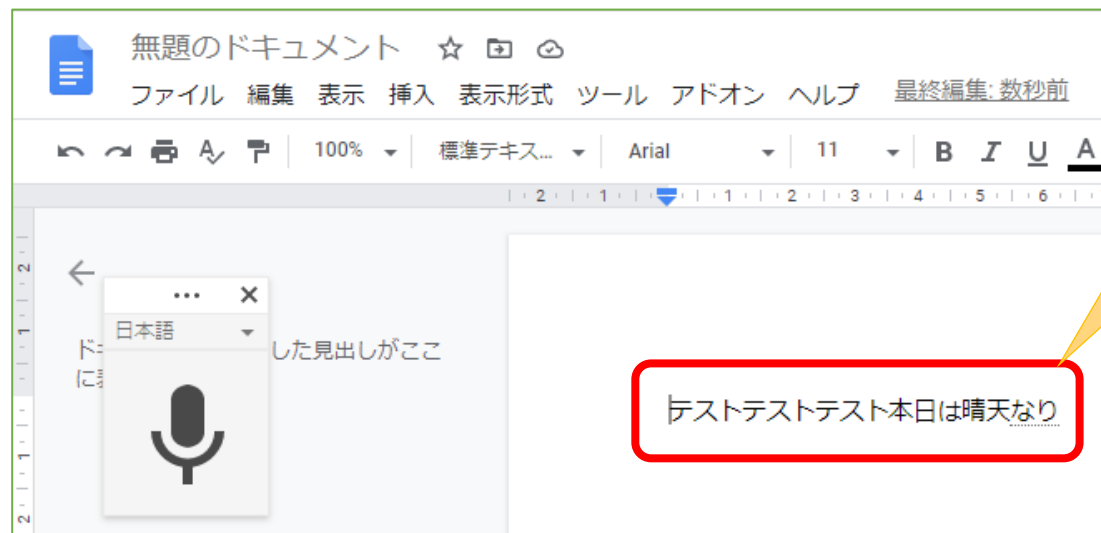
グーグルアカウントでログインしておく



新しいドキュメント→ツール→音声入力



ブラウザがマイクを利用することを許可する。

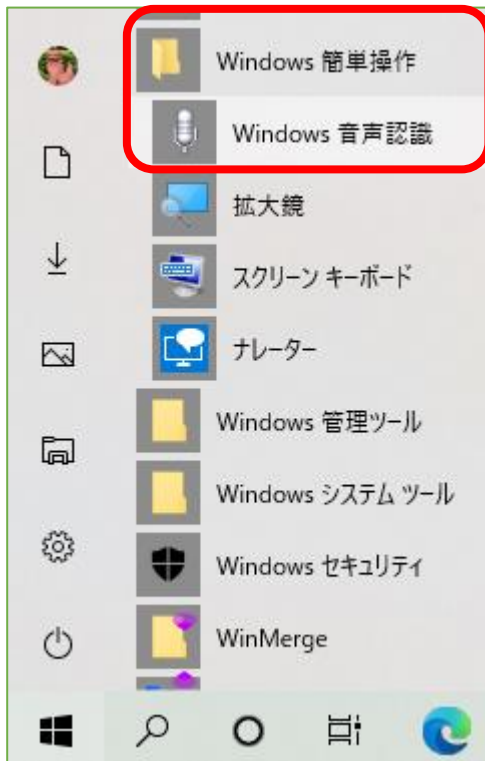


認識された文字列をコピーして他のアプリに貼り付けて利用する。

「Windows音声認識」を使う方法

- Windows10には、音声認識機能が備わっていますが、これを使うためには、セットアップが必要です。使うように設定を行わなければ、このような機能があることにも気づきません。
- 「Windows音声認識」を起動すれば、Windows10上で動く様々なアプリの文字入力場で音声入力ができます。

手順



スタート→Windows簡単操作→Windows音声認識で起動する。



既にセットアップされていれば、画面上にこのようなバーが表示される。



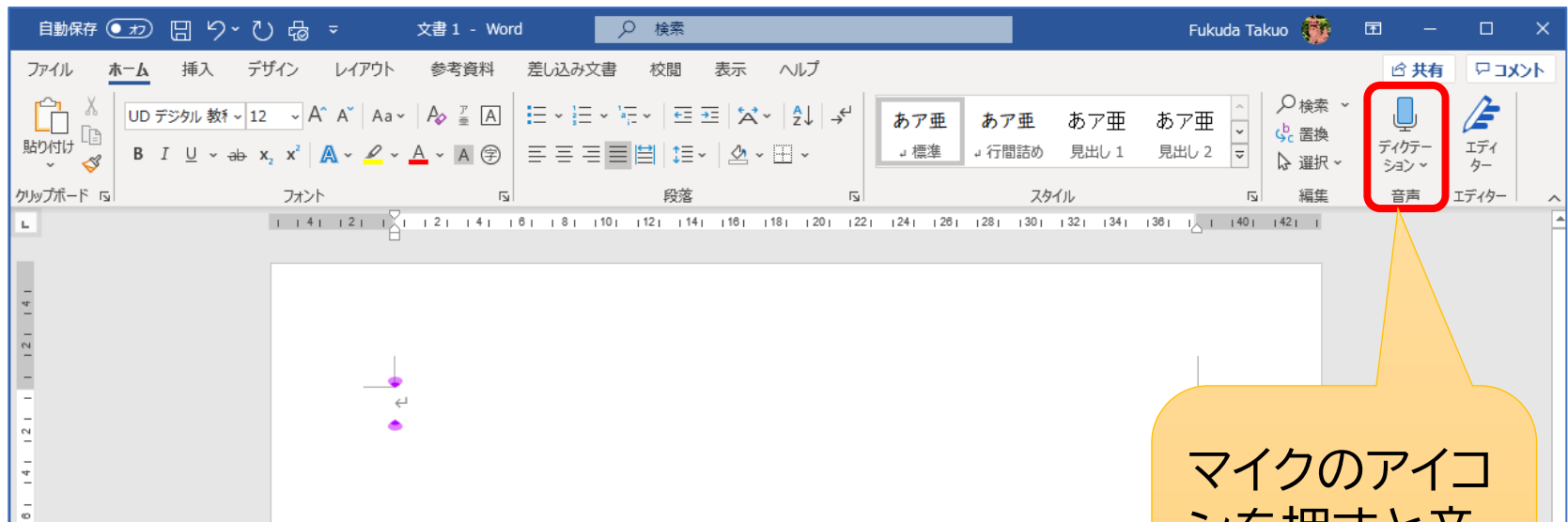
初めて使うときに次の手順でセットアップを行う必要がある。

セットアップ手順

ワードの音声認識機能を使う方法

- Office365のワードには、ホームタブに「ディクテーション」(書取りという意味)というアイコンができていて、これをクリックすると音声入力できます。
- Officeのバージョンによっては、この機能はありません。365にはありますが、通常の2016にはありません。

Office365のワード

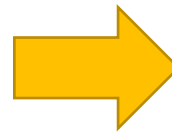


マイクのアイコンを押すと音声認識が始まる。

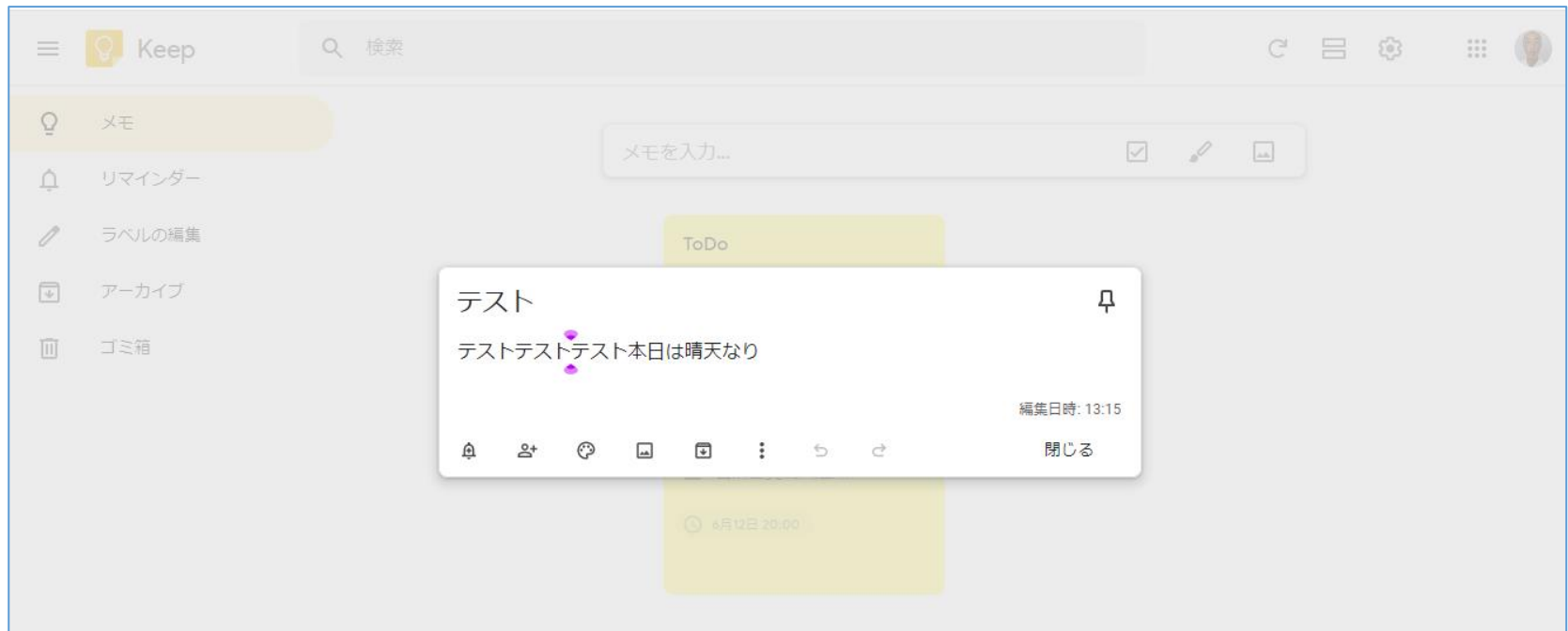
スマホの音声入力を利用する方法

- 慣れているスマホの音声入力で文章を入力しパソコンに転送する、という方法も考えられます。この場合、パソコンに転送する方法はいろいろ考えられますが、最も簡単な方法として、「Google Keep」を使う方法を紹介します。
- Google Keepは、書いたメモを保存してくれるアプリです。Android用だけでなく、iPhone・iPad用もあります。スマホで書いたメモはクラウドに保存されるので、パソコンで取り出せばいいのです。手順は、スマホの「Google Keep」アプリを開き音声入力で文章を書く→パソコンで「Google Keep」を開き文章をコピーして利用する。

スマホで「Google Keep」を開き音声入力で書く



パソコンで「Google Keep」を開くと入力した文字が出てくる



【参考】Google Keepの使い方



The screenshot shows a web page from PreBell. The header includes the So-net logo, the PreBell logo, and navigation links for 'ネットの最新トレンド', 'ネットのギモン・お悩み', '暮らしのネット活用', 'PreBellとは', and a Facebook icon. The main content area features a title, an introductory paragraph, and a table of contents.

PREBELL ネットの最新トレンド ネットのギモン・お悩み 暮らしのネット活用 PreBellとは 

【GoogleKeep (グーグルキープ) の使い方】手書き、音声入力OK！Googleの多機能メモアプリ徹底解説！

スマホやタブレット、手書きなど、いろんなメモの方法がある現在。デジタルでは「Evernote」が有名ですが、数々の便利なサービスを提供しているGoogleもメモを提供しています。それが「Google Keep」。Googleらしいシンプルで使いやすいデザインと使い勝手、便利な検索機能などが搭載されたサービスです。そんな「GoogleKeep」の基本的な使い方から、友達への共有やスマートフォンとの連携などの便利な機能までを紹介します。

目次

- **GoogleKeep (グーグルキープ) の基本の使い方**
 - 基本的なメモの作成方法
 - リスト形式のメモの保存
 - ボイスメモの使い方